

「第4回 歳時記の郷・奥会津」フォトコンテスト
特別賞作品「雪まつりの日」 片山 昭二

奥会津 だより

2001年冬
第4号



新年あけまして おめでとうございます。

柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町

・南郷村・伊南村・館岩村・権枝岐村



OKUAIZU

伊南村
伊南川といえば、アユ。釣り人なら知らない人はいないでしょう。その伊南川筋に広い平野部をもつ伊南村は、古くからこの辺りの中心的な地域として出城や山城のあったところです。奥会津ではまれなどかな田畑の風景が広がる、歴史文化遺跡の多い地域です。とりわけ「大桃の舞台」は、今も集落の奥に威風堂々とあります。その姿を見ると何かを演じたくなる人が必ずいます。一見の価値あり。

昭和村
野尻川の清流が貫く昭和村は、美しい山村のイメージそのもの。その沿道には、石仏や湧水地も多く、「からむしの里」が今夏に開館する予定です。村内にある多くの湿原の中で木道の整備されている駒止・矢ノ原湿原では、尾瀬とは一味違う風景が楽しめます。うっそうとした森を背景に湧き出る冷湖の霊泉は、太古の湧水を思わせる清らかさです。

正月を祝う

正月の歳時記

正月の歳時記というと元旦の若水くみに始まり、サイの神、ダンゴ（檜枝岐村ではダゴ）さし等が奥会津の各町村で行われています。この他にも集落や各戸で受け継がれているものが多数ありますが、中でも1月14日に行われる伊南川流域に多い早乙女踊りは雪国の東北地方に生まれた特有の民俗芸能です。一般的には田植踊り、会津地方では早乙女踊りといわれていてこの芸能は、三百年以上前の冷夏に見まわれた大凶作の時、恐ろしい凶作が再来しないよう村の若者が女装しておもしろおかしく踊ったところ豊作になったといういわれに始まるようです。サイの

神・ダンゴさしも、凶作や大水害被害の深刻な地域で行われてきた五穀豊穡、無病息災を祈願する行事として継承されてきました。したがって、そうした被害の深刻さが薄らいできてくる今日では、行事もまたその形や意味合いを変えてきています。

継承するのは人の知恵と感性

「奥会津では、カミ（田の神）をまつる大切な祭りとして正月を祝ってきました。」という言葉が多く資料に見られます。今日では、田の神を字面では想像できても、何のことでどういうことが行われるのかわからない人が多いのではないのでしょうか。実生活に結びつかないことが、習慣として廃れていくことを止めるのは困難です。

ふるさとの風景



《雪を掘る》 奥会津では屋根の雪も掘るのです。

第1回 歳時記の郷・奥会津フォトコンテスト
入選「雪おろし」 高橋正好さん

奥会津まるかじり



●**おもち**
「正月」といえばもち。ながもちする、持ち歩ける、満月（もちづき）からなど、その語源は色々とい



すし漬けの樽

るようです。奥会津には正月の餅だけでなく、日常生活の用から多様な餅が作られてきました。写真のような餅を始め、檜枝岐や館岩村では山人の携帯食ばんでい等があります。奥会津の旅館民宿では、季節の餅が夕餉に出されます。



●**にしんのすし漬**
「身欠きニシンの鮮漬」が館岩村、伊南村、南郷村、只見町など伊南川流域の町村でつくられています。「にしんの山椒漬」は会津のどこでもつくられています。ただ、「鮮漬」はこの地方だけに限られる珍しいもの。だ円の形の木樽に山

椒の葉、もち米ご飯と糀を使って1カ月以上も漬けたら、山椒のほのかな香りと、まろやかな酸味と熟れた塩味、しなやかに変わった身欠きニシンに変身。軽く焼いて正月の年始客へのもてなし料理に出されます。酒肴にぴったり。



早乙女踊り（南郷村）

しかし一方で「お正月おめでどう」という言葉は、誰にもすんなりと受け入れられています。どちらにも、「これからの一年が豊かに幸福でありますように」という願いを込めている点では同じであると言えます。

都市の正月の習慣はおせち料理の宅配に象徴されるように、大部分が商業的な下支えで辛うじて残っています。奥会津には各種の正月行事がまだ継承されています。豪雪地帯であるからこそ生まれ、育まれた人々の生活の知恵と豊かな感性は、原理的でありまた極めて合理的であります。こうした知恵・感性の原理と合理性を、もつと現代の生活に活かしていくことがこれからは必要ではないでしょうか。そのためには、奥会津に住む人々自身が日々の暮らしの中で発見し、取り入れていく意識と行動が求められることになり

昨年11月5日、三島町で「奥会津エコハイク&フォーラム」を開催しました。このイベントは、只見川電源流域振興協議会が日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト(HATJ)、代表田部井淳子氏)の全面的な協力を得て実現したものです。HATJは、登山と美しい山々の環境保護を目的として、シンポジウムの開催、国際交流青少年体験登山、クリーン登山などいろいろな活動を行っている全国規模のボランティア組織です。今回のイベントを手始めに、次年度以降、本協議会と共同で環境と交流のエコハイクを奥会津の山々を舞台に実践していく予定です。

イベント当日は、これ以上は望めないほどの秋晴れの下、朝7時に地元奥会津をはじめ、福島県内、遠くは群馬県や新潟県から、外国人を含む約200名が滝原登山口に集まり、標高832mの三坂山山頂を目指しました。4歳の子供も含め一人の落伍者もなく、一行は約2時間かけて紅葉た

けなわの三坂山山頂にたどり着き、その後、美坂高原での野外フォーラムに参加しました。フォーラムでは田部井さん(女性で初めてエベレスト登頂に成功した登山家)の「エベレストから環境保護へ」と題した講演がありました。エベレストに登頂

山頂を目指して、いい汗をかきました



「田部井淳子の奥会津エコハイク&フォーラム」開催される

三島町三坂山・美坂高原にて

われた富士山も、ゴミを持ち帰る活動が実って、見違えるほどきれいになった。美しい山は「明日からも頑張るぞ」という気力を与えてくれる。これから10年にわたり奥会津を舞台にした運動や自然のよさを伝えていきたい。地元の方々の協力をお願いしたい、と締めくくりました。

次いで、HATJ常務理事石田要久さんから、次年度から始まるプログラムについて説明がありました。今後9町村の山々を定期的に登り、四季折々の山の楽しみ方を多くの人に伝え、地元の人たちとのふれあいの場をつくっていききたいということでした。

速に増加し、シェルパを加えると1万人を超え、その人達が残していったゴミをHATJのスタッフだけで降ろそうとすると、280年もかかってしまう。持って行った物はきちんと持ち帰るという意識を啓蒙していくことが大切と訴えまわりました。この10年間で山の環境に対する意識もだいぶ変わり、世界一汚い山とい

シリーズ 奥会津の自然②

速報！奥会津の自然再発見プロジェクト

奥会津の自然を再発見するプロジェクトは、今、いろいろな方々からお話を伺って情報集めをしています。その内容を、速報としてお知らせします。

札幌大学教授 下川和夫氏

奥会津は、日本最大級のなだれ地形の集中地である。山形大学助教授 半澤直人氏

只見川流域の河川に住むウグイスの仲間の生態の話。チヨウ博士 角田伊一さん(三島町)

提案！奥会津9町村のチヨウウを選定。柳津オオムラサキ、三島キマダラルリツバメ、金山ウスバシロチヨウ、只見ギフチヨウ、昭和(ヒメシジミ)、南郷(ミヤマカラスアゲハ)、伊南アサギマダラ、館岩(キペリタテ)

ゆとりの自然農法研究者 海老名健さん(三島町)

自然の恵みを生かして新しい生活の糧と夢を生み出す農業、自然ガイドへのチャレンジについての話。いきいきふるさとづくり財産台帳編纂員 谷川浩一さん(金山町)

金山町内には、知識豊富な自然博士集団があること、その台帳には書ききれなかった自然資源についての話。山菜きの博士 鈴木新一郎さん(昭和村)

40種を超える山菜と30種以上のきのこの話。分布や

特徴、料理や保存方法についての話。ワシタカ力研究者 菅家博昭さん(昭和村)

奥会津は、大量の雪と急峻な地形がつくる自然(生態系)が守ってきた日本最大のワシタカ生息地。その保護と活用についての話。

伊南家田舎のセールスマン 平野博信さん(伊南村)

地元で息づいている暮らしの知恵は、自然との関わり方を表している。それを地域の人たちの視線で、都会の人に伝えていかなければならないという話。

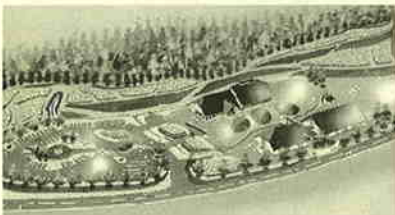
サンショウウオ博士 星寛さん(檜枝岐村)

サンショウウオの分布と生態、森と沢の関係、二リソウの咲く春の森の美しさについての話。

みなさんで協力ありがとうございました。今後もういろいろ「自然博士」のところにのびやまします。よろしくお願ひします。(二〇〇〇・十一月・十五)ブレイク研究所 松井 孝子



もっと知りたい からむし織の里



からむし工芸博物館と織姫交流館からなり、平成13年7月の開館に向け工事が進められています。からむし織は、苧麻(チヨマ)の繊維を素材とした古代からの織物で、かつては日本各地で織られ、献上布として納められた貴重な布でした。からむしの糸づくりから、高機を使って平織り帯を織り上げるまでの11ヶ月の体験をすすめる織姫の募集には、毎年全国各地から応募があります。

アクセス
国道400号沿い昭和村佐倉地区
休館日、入館料は未定



大桃の舞台

明治28年に再建された大桃の舞台は、かぶと造りのかやぶき屋根が全国でも珍しい様式をとどめています。18世紀後期から始まったといわれる農村歌舞伎は、農作業の合間に村人が神社の舞台で演じ見物し楽しむという素朴な娯楽でした。かつてはこうした舞台が奥会津地域のあちこちで見られましたが、現在では伊南村大桃のほか、檜枝岐村、館岩村湯ノ花、昭和村、大丸に現存しています。(国重要文化財)

アクセス
国道352号沿い伊南村大桃地区

歳時記の郷・奥会津

元気な奥会津づくり

奥会津研究会メンバー募集!

「奥会津研究会」は、奥会津地域をより元気にするためにアイデアを出し合い、実現を目指す会です。本協議会が支援しています。

みんなで奥会津を盛り上げよう!



- 年齢、性別、職業、学歴は問いません。
- 自己紹介、連絡先、あなたの「奥会津への思い」または「取り組みたいこと」を書き申し込んでください。
- 会議費交通費の補助あり。

〈申込先・問い合わせ先〉

〒968-0421 南会津郡只見町大字只見字雨堤1039
(只見町役場企画課内) 只見川電源流域振興協議会事務局
TEL0241-82-5220 FAX0241-82-2117
担当 目黒・佐藤

奥会津エコハイク (昭和村) 参加者募集!!

奥会津の自然を舞台に、環境保全と都市との交流、世代を超えた体験学習をテーマに始まった奥会津エコハイクの第2弾を2月24、25日に昭和村で開催します。当日は、首都圏からの参加者とともに、H A T T J のスタッフをリーダーに雪の里山歩き(スノーシューなど)や雪洞づくり体

いべんと告知板

駿、餅つき大会などのプログラムを楽しむ予定です。冬の一日を戸外で、都市住民の皆さんと雪の楽しみ比べをしてみませんか。親子での参加も大歓迎です。

日時/平成13年2月24日(土)25日(日)
場所/昭和村しらかば荘周辺
募集人員/40名(十首都圏参加40名)
地元参加費 一〇〇〇円
申込先/昭和村役場企画課
電話0241(57)2111

各地での雪まつりに 出かけまじょう

奥会津で暮らす私たちにとつて、豪雪に閉ざされる数ヶ月こそが奥会津らしい時期とも言えるでしょう。このことが、私たちの生活の様々な様式を形づくってきました。今日では

雪の季節を閉じこもるだけでなく、冬や雪を楽しむ生活をしようという意識が持たれるようになってきています。こうしたことから各町村では一番雪の多い時期に、地元住民を中心にした雪まつりを開催しています。雪像コンクール、かまくら、花火大会、餅つき大会、熊汁サービス、各町村とも毎年趣向を凝らして実施しています。お酒も雪国の大切な文化ですが、それだけではありません。あなたの町だけでなく、他町村の雪まつりを探検にいきませんか。

歩く仲間をつくらう!!



来年度柳津町、館岩村で日本ウォーキング協会、福島県ウォーキング協会協力によるウォーク大会を開催します。これを契機に、只見川電源流域振興協議会では、日本ウォーキング協会の会員になりました。全国的にも歩くイベントが盛んです。日頃の運動不足を解消し、健康を維持するための処方箋としてウォーキングは科学的にも解明されています。ダイエット効果もあります。福島県協会は、来年度の大会開催を契機に奥会津地区にも歩く仲間を増やし、誰にもできる歩くことを通じ多くの人と気楽な交流の楽しみを見つけて欲しいと仲間づくりを呼びかけています。

福島県ウォーキング協会へのお問い合わせは024(559)1943
(電話・FAXとも)
事務局長 安斎 清俊さんまで

町から村から 来て見て参加して!!

1月~2月

イベントカレンダー

◎月日◎名称(★要予約) ◎町村から一言

1/1	餅つき大会	南郷村	おしるこ、樽酒、無料サービス
1/3	初滑りゲーム大会	檜枝岐村	
1/7	七日堂裸まいり	柳津町	禪姿の男たちが本堂の鰯口の麻縄によじ登り1年の幸福と無病息災を祈る
1/13-14	高畑テクニカル選手権大会	伊南村	一般大会から本格的技術選手権まで
1/14	毎日杯Gスラローム大会	只見町	県スキー連盟公認(只見スキー場にて)
1/21	スキー子供の日	南郷村	小学生以下リフト料金割引
2/3-4	会津やないづ冬まつり	柳津町	歳の神、提灯行列、雪像コンクール、花火大会、綱引大会、民芸品展示即売等
2/10-11	雪と火のまつり	三島町	さいの神、雪上運動会、そばまつり、雪の芸術展等
2/10-12	只見ふるさとの雪まつり	只見町	雪の芸術展、かまくら、カラオケ大会、さいの神、花火大会等
2/11	サッポロビール杯 ワンメイク大会	南郷村	スノーボードジャンプ大会
2/11	クロスカントリー伊南杯・福島県Jrスキー選手権	伊南村	スキー連盟公認
2/18	スキー子供の日	南郷村	小学生以下リフト料金割引
2/18	会津かねやま町民雪まつり	金山町	郷土物産展、味じまん、さいの神
2/18	南郷ファンへの感謝デー	南郷村	甘酒、トン汁、小学生以下リフト1日券割引
2/18	コココーラカップGS大会	伊南村	一般参加の本格GS大会
2/24	エコハイク	昭和村	いべんと告知板参照
2/25	第21回 読売杯南郷スラローム大会	南郷村	
2/25	からむし織の里雪まつり	昭和村	もちつき、ふるさと芸能まつり、雪上運動会
1~3月 第2,4土日	高畑スノーパーク(高畑スキー場内)	伊南村	スノーチュービング、スノーラフティング(1回300円) チュービングタイムトライアルレース、雪像コンテスト等

編集:さんぼみち総合研究所
〒113-0021 東京都文京区本駒込1-1-17 本駒込SOビル TEL03-3823-5893
奥会津だよりホームページアドレス <http://www.e-sampo.co.jp/okuaizu/>
この冊子は電力移出交付金の事業により作成されています。

発行:只見川電源流域振興協議会
〒968-0421 福島県南会津郡只見町役場企画課内 TEL0241-82-5220
只見川電源流域振興協議会は只見川と伊南川流域の9町村で構成され、奥会津地域の活性化を目指している組織です。